

新潟開港150周年記念

みなとまち新潟 歴史探訪⑥

問歴史文化課(☎025-226-2584)



塩鮭の支出額が1位!? ～新潟と鮭のはなし

本市は全国の都道府県庁所在市と政令市の中で、塩鮭の支出額が1位です(平成28年家計調査)。

新潟と鮭の歴史は古く、平安時代には越後国が都へ納める税として「鮭」や鮭の加工品(筋子や氷頭など)も定められ、古代から鮭は越後の特産品でした。また、西区の的場遺跡からは「鮭」の文字が書かれた木簡や、漁具が出土しており、この周辺で取れた鮭は乾燥や塩加工されて都へ運ばれていたと考えられます＝**写真上**＝。

江戸時代になると、越後の大名は初鮭を献上品や贈答用として重宝し、信濃川や阿賀野川で取れた鮭は将軍家にも献上されました。

新潟市民と塩鮭の関係が深まったのは、明治時代から大正時代にかけての北洋漁業です。鮭を求めて多くの船がロシア領まで出航し、その拠点となった新潟港には1,000万尾以上が水揚げされました＝**写真下**＝。こうして鮭は私たちの食卓になじみの深いものとなったのです。



的場遺跡の鮭の加工の様子
(みなとぴあ常設展示の一部)



北洋漁業の漁船団と
信濃川の鮭漁の様子